

H18.6.4

全国初導入

緊急告知FMラジオ

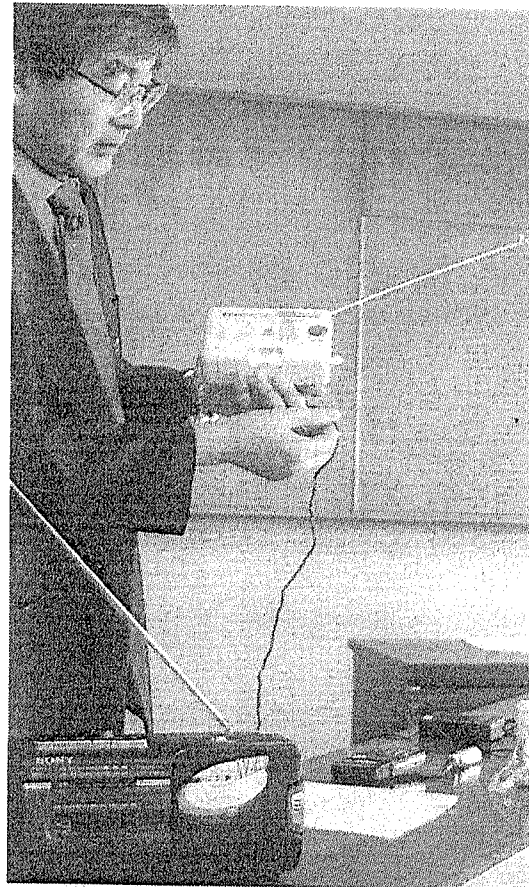
災害↓自動的に電源↓避難情報

長岡市、伝達網拡大へ

長岡市は、避難勧告などの災害情報を伝達する「緊急告知FMラジオ」を市内のモデル地区で配備を始めた。災害発生時には、自動的に電源が入り、避難情報などが流れるラジオで、岡山県倉敷市とともに全国初の導入となる。配備を終える今月下旬には一斉訓練を実施する予定だ。

地元のFMながおかが協 三島、与板町などは防災力。FM局が特殊信号を発 無線が全世帯に配備されて受信すると、ラジオが信号を いるが、旧長岡市などでは、受信して自動的に電源が入り 町内会の連絡網を活用し る。避難勧告など緊急通知 ている程度で、伝達システ ムの構築が課題だった。倉 最大音量で流れるほか、 ライトも点灯・点滅するた 敷市の「FMくらじき」な め、聴覚障害者にも伝達さ だが今年3月、「緊急告知 れる。充電式バッテリーが FMラジオ」を開発したこ とを聞きつけ、導入を決め た。倉敷市も今年度、導入 として使える。

長岡市は中越地震後、 する。 災害情報の伝達手段を横 長岡市でラジオを配備す



「緊急告知FMラジオ」を手にするFMながおかの脇屋局長

地震で被害の大きかった刈谷田川や栖吉川沿いなどの地域。市の今年度予算に約650万円を計上し、町内会単位や福祉施設、障害者宅など計約800台を配備する。

FMながおかの脇屋雄介放送局長は「よりのきめ細かな情報提供が可能となる」と話し、同市は「モデル地区で有効性が確認できれば、来年度からラジオの配備拡大を進めたい」と、今後、防災無線のない地域に順次配備することも検討。ただ、FMながおかが受信できない地域もあるため、小型アンテナを設置するなどしてエリア格差の解消も目指していく。